

PICHIIT

ピチット

開始価格 5,700 バーツ/人

ราคาเริ่มต้น
5,700 บาท/ท่าน

1日目：バンコク-ピチット県、ワットカオループチャーン、ワットタールアン、ナコンチャイシーボウォン博物館、クロンクー寺院

05：00時 バンコクからピチット県に旅行します。4時間30分くらいかかります。

09：30時 **ピチット県**に到着します。その後、**ワットカオループチャーン**に旅行します。ピチット県のムアン地区のドンパカム地区にあります。はっきりと見えるカオループチャーン寺院の旧蹟はスリランカ風のパゴダです。象のように見える白い石が積み上げられた丘の上にあります。チェディは元々古いチェディでしたが、後に寺院が改装されました。すべての金の艶をかけられたタイルを飾りました。階段のふもとに彼の周りに柵があります。山の頂上には、ピチット市の360度の景色を見ることができます。これにより、村人の農場だけでなく、寺院に通じる道も見えます。塔の周りには寺院が大きな



精舎を建て、古い仏舎利塔があります。これは12の木製のへこんだ角を持つ多角形の仏舎利塔です。アユタヤ時代に建てられたものと思われます。鐘自体はゴレンシの花ですが、塔の上部が壊れています。また、途中のナーガ階段のふもとには四面体の曼荼羅があります。ブロンズ仏像が祀られています。そして、新しい教会の近くにも壁画があります。



次に、**ワットタールアン**に旅行します。ピチット県の重要な寺院です。ナーン川の西岸、ブサバ通り、旧市庁舎近くです。この寺院はナンクラオチャオユフア王の治世中に1845年頃に建てられました。ウボーソットの中にはルアンポーペットが祀られています。美しい仏像のある仏像です。現在、タールアン寺院の本堂に祀られています。ルアンポーペットは、美しい仏像であるだけでなく、芸術的な



形をしています。ルアンポーペット仏像は、ブロンズで鑄造されたチェンセーン時代の最初のモデルです。ラップのサイズは2キュビト1クリーブ幅6インチ、3キュビト高さ3インチです。蓮の形をした台座の上に座席が上を向いて座っていたところ。1660年から1880年の間に建てられ、約882年前に建てられました。誰かがフィットに旅行したとき、彼らは彼ら自身の繁栄のためにルアンポーペットに敬意を払わなければなりません。アイテムを紛失したり、困っているなどの問題が発生した場合は、ルアンポーペットの力で保護と修復を依頼してください。またはすべての逆境を払いのけます。その人が苦しみから解放されたら、彼は豚の頭、アヒル、鶏肉、軽食を持ってルアンポーペットに提供します。



昼

レストランで昼ご飯を食べます。

午後

ナコンチャイシーボウォン博物館に旅行します。ピット県のポータ

レー郡バンクラン地区のヒランヤーラム寺院（ワインタコ）にあります。展示場として あらゆる時代、あらゆる時代のナコンチャイボウォンで見つかった美術品や骨董品です。先史時代から現代までです。ナコンチャイボウォンで人々が持ってきて発掘したものは仏像、土器などです。この寺院の興味深い建設は ナコンチャイシーボウォンの博物館

は2階建てのモンドップ博物館です。2階には、ルアンポーゲンの6体の本物の彫像に相当する彫像が祀られています。彼が亡くなったとしても、彼の評判と名誉は彼の記憶に残ります。

その後、**クロンクー寺院**に旅行します。ピット県ムアン地区タルアン分区にあります。村人やギャンブラーはたくさんのラッキーナンバーを求めています。寺院の中にはたくさんの彫像があります。仏像、巨大なワニ、ゴジラなどです。それは観光客が訪れる絶え間ない魅力です。子供たちはゴジラ像が大好きでした。寺院の中は平





和で静かです。寺院に入るときはリラックスします。2016年12月17日の寺院 クロンク寺院の修道院長とクロンクの村人が一緒になって、パヤチャラワンの大きな像を作りました。長さ47メートル、幅5.5メートル、高さ5.5メートルまでのサイズがあります。

2016年12月上旬に完成しました。

今では人々や観光客が彫像を持ってセルフイーを撮りに来ています。ピチット県の新しいランドマークです。



夕方 **レストランで晩ご飯を食べます。** 食事の後、The Nest Hotel に泊まります。荷物をまとめて、自由時間です。

2日目：ピチット旧市街公園、ワットナコンチャム、水族館、ブンシーファイ

朝 **ホテルの食堂で朝ご飯を食べます。** 食事の後、**ピチット旧市街公園**に旅行します。ピチット県のムアン地区のロンチャン区にあります。これは、1601年頃にプラヤコットボンの治世に建てられた旧ピチット市の場所であると考えられています。城壁、堀、旧塔からなる古代都市のように見える約400ライの城壁エリア内から見る事ができます。カンチャナクマン樹木園 1977年に王立森林局が設立され、日陰のあるエリアをリラクゼーションに適したエリアにしています。1977年に建てられた旧市街公園のラックムアンの興味深いものです。建物は2階建てです。上は市の柱神社の場所です。下部はプラヤコットボンの像が祀られているところです。神社の周りには日陰に見える木がたくさんあります。この地域にはパビリオンもあります 観光客も休憩します。ワットマハタートは旧ナン川の東岸にある旧ピチット市の真ん中にあるレンガ造りの遺跡です。重要な国の史跡として登録されていま



す。スリランカスタイルのプラタートチュエディをお見逃しなく。中には様々な種類のお守りがあります。密輸されて発掘された。墳丘の下にはスコータイ時代とアユタヤ時代の2つの時代の建物が残っています。

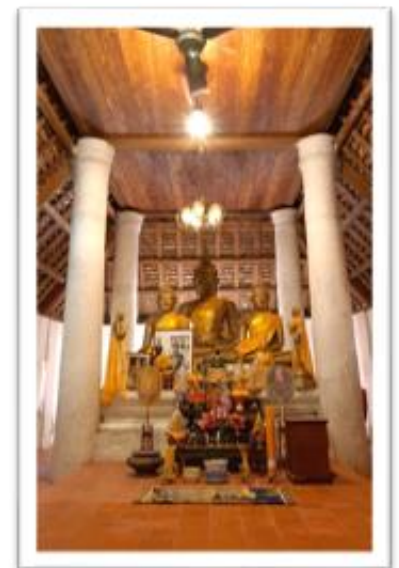


多くの塔と大きな壁を含みました。チャラワン洞窟はワットマハタートの隣にあります。

土の奥深くにある洞窟のようです。正面にはピチット県が建てたクレイトンとチャラワンの像があります。

その後、**ワットナコンチャム**に旅行します。ピチット – Road、Sam Ngam-Wang Chik (Highway

1068) にあり、約 9km です。この寺院はスコータイ王朝時代に建てられた約 800 年の歴史を持つ寺院です。とても古いオーディネーションホールがあります。漆喰レンガで建設しました。釘の代わりに木製のラッチを使用しました。このウボーソットはかつてルアンフォペットが祀られていた場所でした。これは現在、ワットタールアンに祀られるためにルアンポルペットを祀っています。現在、レンガとセメントで作られた大きな仏像が祀られています。スコータイスタイルです。過去にプラ・フィファット・サッタヤの水上式の会長として使用された仏像です。



昼

レストランで昼ご飯を食べます。

午後

水族館に旅行します。水産局はブンシーファイの地域に魚の繁殖施設を設立しました。その目的は、王陛下を記念することです。そして一般の人々のための観光とレクリエーションの場所です。知識は人々が共有された所有権を愛し、大切にし、実現することを奨励します。永遠に続く国宝である水生動物資源を保護する責任を共有しなければなりません。魚飼育施設はピチット内陸水産研究開発センターを担当しています。次のような重要な部

分で構成されています。1. 9 点形状で建てられ、ブンシーファイに伸びる ChalermPhrakiat ビルです。内部には壁に埋め込まれた 12 の水槽があります。希少で貴重なエキゾチックな魚種を表示するために使用されます。



観光客からの食べ物を食べるのを待っているさまざまな種類の魚がいます。2. 橋

の長さは 60 メートルです。照明システムを内蔵したアルミチューブのブリッジ手すりで構成されています。次に、ブンシーファイに旅行します。ピ



チット県の ムアンピチット地区 の市 ムアン区 にあります。それは国で 3 番目に大きい水源です。約 5,000 ライの面積があります。ブンシーファイは、ピチット県の最初のシンボルと見なされています。ブンシーファイの雰囲気は穏やかで自然であり、街で最も重要なレクリエーションの場所の 1 つになっています。そして、ブンシーファイの夕日が美しかったことを否定する人は誰もいません。ブンシーファイに面白いことはこれです。



- Somdet Phra Srinagarindra Park、1984 年の 80 歳の誕生日を記念して、スリナガリンドラ殿下を称えるために建てられました。170 ライの面積があります。ブンシーファイ沿いのレジャーパークです。休憩

所として設置された大きなパビリオンに通じる橋があります。観光客は魚に餌をやったり、夕日を見に来たりするのが好きです。



- パヤチャラワン像、クライトンの伝説によると、パヤチャラワンという名前の大きなワニがいました。人々を食べていた。そしてついにクライトンに敗れた。そのような像ブンシーファイの前 小さな建物に建てられました。長さ 38 メートル、幅 6 メートル、高さ 5 メートルで

す。このワニの中には 25～30 席の会議室であり、世界最大のワニの彫刻でもあります。

-川の真ん中のパビリオン、ブンシーファイにあるパビリオンで、全部で4つのパビリオンがあります。観光客はこのパビリオンで水生動物に餌をやるのが好きです。そして、ピチット県の投票所としても使用されています。



-水族館、水族館には 20 種以上の魚がいます。そして、定期的に魚種の変化があります。また、建物の中央には、シーファイ池に魚を見ることができる開口部があります。観光客から食べた食べ物を待つために、さまざまな種類の魚が集まります。

-クロコダイル池、ブンシーファイのエリアには、ワニの池もあります。古い池と新しい池の2つのワニの池があります。今では古いワニの池です 小さいです 非アクティブ化されました なぜなら、ブンシーファイの大きなワニの代わりに新しいワニの池が建設されたからです。祝日を含む毎日無料で観光客に開放されています。



夕方 **レストランで晩ご飯を食べます。** 食事の後、The Nest Hotel に戻ります。自由時間です。

3 日目：ワングロット旧市場、バン克蘭寺院、バンコク

朝 **ホテルの食堂で朝ご飯を食べます。** 食事の後、ホテルからチェックアウトします。**ワングロット旧市街市場**でお土産を買に行きます。ピチット県ムアン地区のエリアにあります。フィチットの町から約6キロです。かつては陸路と水路の交差点であったため、貿易は非常に盛んでした。ピチットの大きな貿易の中心地になりました。ここの村人のほとんどは





中国系のタイ人です。祖先の時代からの貿易の職業。その後、輸送と近代的な貿易システムの変化により、市場の経済は急速に停滞しました。市場の子供たちのほとんどが地域外で仕事を見つけられるようにする。一部の店舗は廃業しています。しかし、過去から継続して営業している店舗はまだあります。どれだけ時間が経っても、ワングロット旧市街は過去の物語を語り、ここを通りかかった人々に思い出を与えることができます。建築は今でも古いワングロット

ト地区のユニークなアイデンティティを維持しています。過去に使用されたアイテムは引き続き表示され、現在も使用されています。ワングロット市場には地元の人が尊敬する神社であるチャオポルワングロム、市場の創造を開始し、支援した人物、バーン・ルアン・プラトゥアン エンターテインメント映画館ワングロット駅などの重要な場所もあります。村人のかわいらしさの写真。ほとんどが親切なお年寄りで、コミュニティを歩きながら笑顔で挨拶をしています。ワングロット旧市街は今でも絆と思い出に満ちています。



昼

レストランで昼ご飯を食べます。

午後

バンクラン寺院に旅行します。Luang Por Ngoen を崇拝する旅に連れて行きます。「Luang Por Ngoen Phutthachot」バンクラン寺院にあります。ピットットの有名な僧侶です。呪文の専門知識を持っています。叙階研究 さまざまな呪文の呪文 叙階の時代までです。叙階研究 さまざまな呪文の呪文 叙階の時代までです。チャナソクラム寺院での叙階式に出席します。渾名 Phutthachot を受け取りました。彼はヴィパッサナー瞑想を3年間学び、呪文を学ぶために弟子として奉献しなければなりません。彼はガンガラム寺院の仏教徒に戻った。(ワット・バン・クラン・タイ)、ピットット県バン・クラン地区。彼のかつての家は、ワン・タコ村に





移る前に 1 年間住んでいました。彼はそれを祈った この場所に寺院を建てに来たら 将来さらに繁栄があれば 菩提の 3 本の枝も成長し繁栄し、すべての祈りに従って現れますように。Ngern 牧師は 1834 年頃にそれを建てました。その後、ワンタコー寺院またはジランヤラム寺院は 速く成長する 弟子として自分を尊重し、捧げる人がいます。お守りを求める 病気を治すのに助けを求めます。

- 15 : 00 時 ピチット県から出て、バンコクに戻ります。4 時間 30 くらいかかります。
- 19 : 30 時 バンコクに無事到着します。

サービス率

	値段
開始価格/人	5,700 バーツ

このサービス料金には以下が含まれます。

- ルームサービス料金
- VIP バン（プログラムに従って旅行）
- 飲料水 1 本/日
- 旅程で指定されたアトラクションへの入場料
- 旅行中のツアーガイド
- 医療費方針に基づく旅行傷害保険は、1 人あたり 50 万バーツです。または死亡した場合、保険会社の条件により、1 人あたり 1,000,000 バーツが上限となります。健康保険は含まれていません。
- 食費、旅程で指定された項目に従って。
- リストに指定されている標準的なホテル料金（1 部屋あたり 2 人）

このサービス料金含まれていません。

- 室内ミニバー（該当する場合）、リストに指定されているもの以外の個人的な費用です。
- 菜食主義者のための食費、イスラム教徒のための食べ物料金
- 実際の支払いに基づく外国人の追加入場料
- VAT 7%、源泉徴収税 3%
- ドライバーとガイドのためのヒントは一人あたり 300 バーツ